

2025 年度

教養教育履修要項

データサイエンス学部

2 2025年度 教養教育学事日程

【前期】

	日	月	火	水	木	金	土	学 事
4 月			1	2	3	4	5	1 英語力調査 2 入学式 3 合同ガイダンス 4 学部別ガイダンス(新入生)
	6	7	8	9	10	11	12	4-11 (1)教養教育科目のweb履修登録 (抽選対象科目及びその他科目)
	13	14 ①	15 ①	16 ①	17 ①	18 ①	19	14 前期授業開始 前期前半授業開始
	20	21 ②	22 ②	23 ②	24 ②	25 ②	26	14-18 (2)履修登録状況確認期間 英語検定試験による単位認定申請期間
	27	28 ③	29 ③	30 ③				29 昭和の日【授業開講日】
5 月					1 ③	2 ③	3	7-13 履修取消期間 19-23 補講期間1(5限) 11 前期後半授業開始 16-20 補講期間2(5限)
	4	5	6	7 ④	8 ④	9 ④	10	
	11	12 ④	13 ④	14 ⑤	15 ⑤	16 ⑤	17	
	18	19 ⑤	20 ⑤	21 ⑥	22 ⑥	23 ⑥	24	
	25	26 ⑥	27 ⑥	28 ⑦	29 ⑦	30 ⑦	31	
6 月	1	2 ⑦	3 ⑦	4 ⑧	5 ⑧	6 ⑧	7	11 前期後半授業開始 16-20 補講期間2(5限)
	8	9 ⑧	10 ⑧	11 ⑨	12 ⑨	13 ⑨	14	
	15	16 ⑨	17 ⑨	18 ⑩	19 ⑩	20 ⑩	21	
	22	23 ⑩	24 ⑩	25 ⑪	26 ⑪	27 ⑪	28	
	29	30 ⑪						
7 月			1 ⑪	2 ⑫	3 ⑫	4 ⑫	5	2-8 履修取消期間(後半科目) 14-18 補講期間3(5限) 21 海の日【授業開講日】 29 前期授業最終日 30-8/5 前期期末試験
	6	7 ⑫	8 ⑫	9 ⑬	10 ⑬	11 ⑬	12	
	13	14 ⑬	15 ⑬	16 ⑭	17 ⑭	18 ⑭	19	
	20	21 ⑭	22 ⑭	23 ⑮	24 ⑮	25 ⑮	26	
	27	28 ⑮	29 ⑮	30 ⑯	31 ⑯			
8 月						1 ⑯	2	6-9/25 夏季休業期間(8/6~9/25) 8 追試験願の提出期限 18 再試験・追試験受験許可者及び時間割発表 18-20 再試験受験 受付期間 18-22 集中講義予定期間(1) 27-29 前期追試験・再試験期間
	3	4 ⑯	5 ⑯	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
	31							
9 月		1	2	3	4	5	6	1-5 集中講義予定期間(2) 8-12 集中講義予定期間(3) 8 前期成績発表 8-12 (1)教養教育科目のWeb履修登録 (抽選対象科目及び その他科目の履修登録) 26 後期授業開始 後期前半授業開始 26-10/2 (2)履修登録状況確認期間 英語検定試験による単位認定申請期間
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26 ①	27	
	28	29 ①	30 ①					

■は、学部等事務室業務を取り扱いません。○は、講義開講日(数字は講義回数)です。

学期を〔前半〕〔後半〕に分けて開講する「英語科目(1単位)」は全8回で完結します。〔前半〕①~⑧回〔後半〕①~⑧回

※国民の祝日に関する法律に規定する休日は学則で休業日とされていますが、前期授業回数確保のため4月29日(火)と7月21日(月)を授業開講日とします。

※夏季休業期間は学則で9月30日までとされていますが、後期授業回数確保のため、9月26日(金)より授業を開始します。

※ 専門教育の学事日程は本表と異なる場合がありますので注意してください。

【後 期】

	日	月	火	水	木	金	土	学 事
10 月		9/29 ①	9/30 ①	1 ①	2 ①	3 ②	4	9/26 後期授業開始
	5	6 ②	7 ②	8 ②	9 ②	10 ③	11	9/26-2 (2)履修登録状況確認期間 英語検定試験による単位認定申請期間
	12	13 ③	14 ③	15 ③	16 ③	17 ④	18	13 スポーツの日【授業開講日】
	19	20 ④	21 ④	22 ④	23 ④	24 ⑤	25	17-23 履修取消期間
	26	27 ⑤	28 ⑤	29 ⑤	30 ⑤	31 ⑥		28 開学記念日【授業開講日】 27-10/31 補講期間4(5限)
11 月							1	
	2	3 ⑥	4 ⑥	5 ⑥	6 ⑥	7 ⑦	8	3 文化の日【授業開講日】
	9	10 ⑦	11 ⑦	12 ⑦	13 ⑦	14 ⑧	15	
	16	17 ⑧	18 ⑧	19 ⑧	20 ⑧	21 ⑨	22	21 後期後半授業開始
	23	24 ⑨	25 ⑨	26 ⑨	27 ⑨	28 ⑩	29	24 勤労感謝の日の振替休日【授業開講日】
	30							25-12/1 補講期間5(5限)
12 月		1 ⑩	2 ⑩	3 ⑩	4 ⑩	5 ⑪	6	
	7	8 ⑪	9 ⑪	10 ⑪	11 ⑪	12 ⑫	13	12-18 履修取消期間(後半科目)
	14	15 ⑫	16 ⑫	17 ⑫	18 ⑫	19 ⑬	20	19-1/8 補講期間6(5限)
	21	22 ⑬	23 ⑬	24	25	26	27	24 開学記念日の振替休日 25-1/6 冬季休業期間
	28	29	30	31				
1 月					1	2	3	
	4	5	6	7 ⑬	8 ⑬	9 ⑭	10	7 後期授業開始
	11	12	13 ⑭	14 ⑭	15 ⑭	16	17	16 大学入学共通テスト準備のため休講 17・18 大学入学共通テスト (滝子キャンパス立入禁止)
	18	19 ⑭	20 ⑮	21 ⑮	22 ⑮	23 ⑮	24	26 後期授業最終日
	25 ⑮	26 ⑯	27 ⑯	28 ⑯	29 ⑯	30 ⑯	31	27-2/2 後期期末試験
2 月	1	2 ⑯	3	4	5	6	7	5 追試験願の提出期限
	8	9	10	11	12	13	14	10 再試験・追試験受験許可者及び時間割発表 10-13 再試験受験 受付期間
	15	16	17	18	19	20	21	18-20 後期追試験・再試験期間
	22	23	24	25	26	27	28	25・26 前期日程入学試験 (滝子キャンパス立入禁止)
3 月	1	2	3	4	5	6	7	2 後期成績発表
	8	9	10	11	12	13	14	8 中期日程入学試験 12 後期日程入学試験 (滝子キャンパス立入禁止)
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					25 卒業式

は、学部等事務室業務を取り扱いません。○は、講義開講日(数字は講義回数)です。

学期を〔前半〕〔後半〕に分けて開講する「英語科目(1単位)」は全8回で完結します。〔前半〕①～③回 〔後半〕①～④回

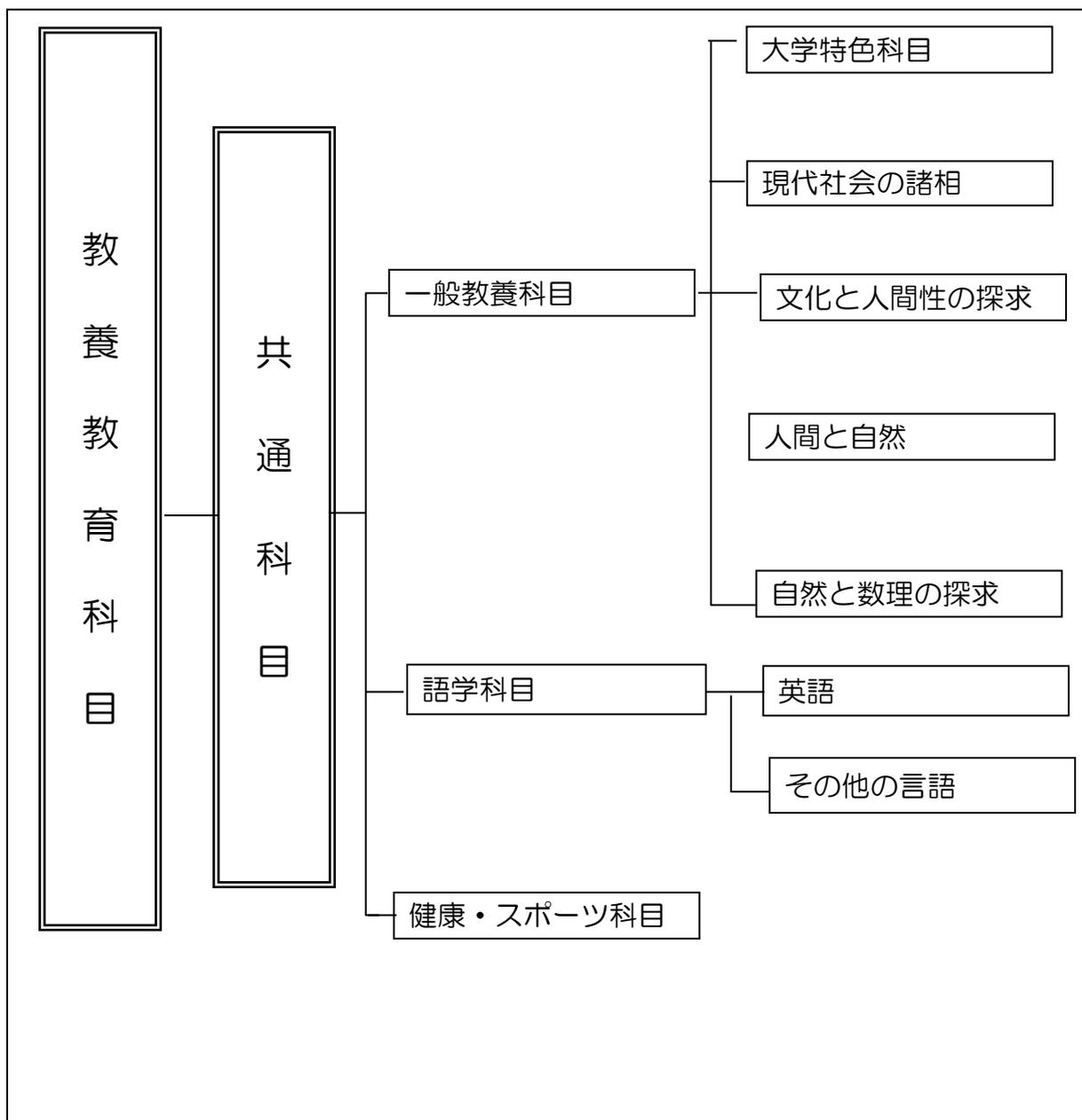
※国民の祝日に関する法律に規定する休日は学則で休業日とされていますが、後期授業回数確保のため10月13日(月)、11月3日(月)、11月24日(月)を授業開講日とします。

3 教養教育科目の概要

「教養教育科目」は7学部共通の授業科目群で構成されています。

このうち「大学特色科目」には、『初年次教育科目』が設置されています。全学の教育力を結集した初年次教育科目を積極的に選択してください。

また、それぞれの区分において履修すべき科目および単位数、必修・選択の別などについては、所属学部の履修規程に定められています。詳細は後掲「6 教養教育科目における修得必要単位数」及び専門教育履修要項を参照してください。



<初年次教育について>

本学では、一般教養科目の大学特色科目区分に初年次教育科目を配置しています。社会人としての基礎を学ぶ科目となりますので、ぜひ積極的に履修してください。

(科目概要)

「社会人になるA、B」・・・社会人基礎力の基本を学び、キャリア・デザインにつなげる科目

4 教養教育科目履修の手引き

(1) 教養教育科目における授業時間

	1 限目	2 限目	3 限目	4 限目	5 限目
開始	9 : 0 0	1 0 : 4 0	1 3 : 0 0	1 4 : 4 0	1 6 : 2 0
終了	1 0 : 3 0	1 2 : 1 0	1 4 : 3 0	1 6 : 1 0	1 7 : 5 0

(2) 単位数の基準

1 単位の学修内容は大学の内外合わせて 45 時間を基礎として、授業形態により次のように定めています。

- ア 講義 15 時間の授業をもって 1 単位
- イ 演習 15 時間又は 30 時間の授業をもって 1 単位
- ウ 実験、実習及び実技 30 時間の授業をもって 1 単位

前期及び後期それぞれの期間中、授業回数は 15 回を基本とします。時間割の 1 時限（コマ）は本学の場合 90 分間ですが、これを 2 時間と見なして単位を積算します。

主な授業科目の時間数及び単位数の関係は次のようになります。

授業の種類・方法	学 修 時 間		合計 (単位数)
	授業時間	自習時間	
講 義	30時間 (週 2 時間×15週)	60時間	90時間 (2 単位)
演 習	30時間 (週 2 時間×15週)	60時間	90時間 (2 単位)
	30時間 (週 2 時間×15週)	15時間	45時間 (1 単位)
実験、実習、実技	30時間 (週 2 時間×15週)	15時間	45時間 (1 単位)

(3) 授業科目等の説明

ア 授業科目

授業科目には「必修科目」「選択科目」及び「自由科目」があります。後掲「5 教養教育カリキュラム」には、必修科目は「●」、選択科目は「○」、自由科目は「自」と表記されています。また、いずれの表記もない科目は自学部のカリキュラムには存在しない科目ですので履修することはできません。

(ア) 必修科目

進級や卒業のために必ず履修し、単位を修得しなければならない科目です。

(イ) 選択科目

必修科目以外にも進級・卒業のためには科目区分ごとに修得が必要な単位数が定められています。

これらの条件を充たすため、学部・学科ごとに指定された区分の中から各自で選択し、履修する科目です。

(ウ) 自由科目（卒業要件外科目）

進級・卒業要件の最低必要単位数には算入されない科目ですが、履修し、単位を修得することができます。

(9) 単位認定制度について

教養教育科目では、下記ア～エの単位認定制度があり、該当する学生は、所定の手続きにより単位が認定されます。いずれの場合も成績評価は「認定」となります。

ア 既修得単位認定

新たに本学の第1年次に入学した者の大学等における既修得単位（科目等履修生等として修得した単位を含む。）について教育上有益と認める場合は、学則第40条の規定により本学で修得した単位として認定することがあります。この場合、教養教育科目として30単位の範囲内で所属学部において認定します。

単位の認定を希望する学生は、所定期間内に教務企画課で手続きを行ってください。なお、手続き時には以下の書類が必要ですので、あらかじめ準備してください。

- (ア) 既修得単位認定申請書（説明会時に配布）
- (イ) 認定を受けようとする科目に対応する、既に他大学等で履修した科目の講義概要を示した書類（シラバスのコピー等）
- (ウ) 履修要項、履修ガイド等（履修方法、カリキュラム等が掲載されている冊子）
- (エ) 学業成績証明書の原本1通（3ヶ月以内に発行されたもの）

申請期間	4月7日（月）9時～4月11日（金）17時
------	-----------------------

認定審査の結果は、教務企画課からお知らせします。

イ 外国の他の大学又は短期大学における修得単位認定

在学期間中に協定校留学などにより、外国の他の大学又は短期大学における修得単位がある場合、学則第39条の規定により本学で修得した単位として認定することがあります。この場合、専門教育科目での単位認定とあわせて最大30単位の範囲内で、所属学部の教授会の議を経て認定します。

単位の認定を希望する学生は、認定を希望する年度の4月から翌年の2月末日までの間に（末日が土日祝日にあたる場合はその前日までに）、所属学部の事務室へ申請して下さい。なお、申請には以下の書類が必要ですので、あらかじめ準備して下さい。

- (ア) 外国の大学等から送付された成績証明書（原本）
- (イ) 外国の大学等で単位修得した科目のシラバスとその日本語訳
- (ウ) 外国の大学等で単位修得した科目を修得するのに必要な学修時間（講義、演習、実技、実習、実験の各時間）を記載した文書。ただし、前号の書類により判明する場合は不要。
- (エ) その他必要と認める書類

認定審査の結果は、所属学部の事務室を通じてお知らせします。

ウ 英語検定試験による単位認定

外部機関が実施する検定試験（実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL）で所定の級位又は点数を得た場合、申請に基づき教養教育科目の英語科目の単位として最大4単位まで認定します。

検定試験の種類	語学科目[英語]	
	2単位	4単位
実用英語技能検定（S-CBT含む）	準1級	1級
TOEIC / TOEIC L&R	730～799点	800点以上
TOEFL（iBT）	77～88点	89点以上

※Test Date スコアのみを認定対象とする。

(イ) 協定大学との単位互換事業

学生が他の大学又は短期大学（外国の他の大学又は短期大学を含む。）の授業科目を履修し単位を修得することが教育上有益と認めるときは、当該他の大学等との協議又は協定に基づき、これを許可することがあります。これにより修得された単位は、各学部の履修規程に従い、30単位の範囲内で所属学部において認定します。履修方法等の詳細については学務情報システムでお知らせします。

(10) 聴講について

本学の学部学生・大学院学生で、教養教育科目の聴講を希望する場合は、科目担当教員が承認した場合に限り、受講することができます。（単位は付与されません。）科目の聴講を希望する場合は、各学期の履修登録期間中に教務企画課へ届出をしてください。

5 教養教育カリキュラム

下記一覧表中、「●」＝必修科目、「○」＝選択科目、「自」＝自由科目、*印＝指定科目
 「●」「○」「自」いずれも記載がない科目は、その学部のカリキュラム外の科目となりますので、履修できません。

【履修に関する注意事項】

- (1) 一般教養科目（大学特色科目、現代社会の諸相、文化と人間性の探求、人間と自然、自然と数理の探求）及び語学科目（英語）は抽選対象科目のため、履修登録の方法が通常とは異なりますので注意してください。
- (2) 自由科目は進級・卒業要件の最低必要単位数には算入されませんが、他の選択科目と同様に履修し、試験に合格すれば単位を修得することができます。
- (3) 履修登録者数が少数の場合、非開講となる場合があります。
- (4) 初年次における語学科目（英語）は、各学期、原則として4単位を超えて履修することはできません。

(1) 授業科目及び配当年次、単位数

一般教養科目 大学特色科目

(抽選対象科目)

授業科目[提供学部・部署] (副題)	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
社会人になるA	}	1	前	2	○	前期2クラス開講
社会人になるB			後	2		
近世名古屋の歴史	講義	1	後	2	○	
起業家になる	講義	1	後	2	○	集中講義
持続可能な社会と私たち	講義	1	前	2	○	
ESDと地域の環境	講義	1	後	2	○	中部ESD拠点連携講義
次世代エネルギーワークショップ	講義	1	前	2	○	集中講義
ソーシャル・デザイン実践編	講義	1	前	2	○	集中講義

一般教養科目 現代社会の諸相

(抽選対象科目)

授業科目 (副題)	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
日本国憲法	講義	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
なぜ憲法が必要なのか	講義	1	前	2	○	
現代社会と法	講義	1	後	2	○	
人と法と医療	講義	1	後	2	○	
経済学：経済のしくみ	講義	1	前	2	○	
経済学：経済と社会	講義	1	前	2	○	
経済学：経済学の考え方	講義	1	前	2	○	
経営学：企業と社会、個人の関係	講義	1	後	2	○	
経営学：企業活動の諸相	講義	1	後	2	○	
経営学：組織を取り巻く諸環境について	講義	1	後	2	○	
社会学A	講義	1	後	2	○	
社会学B	講義	1	後	2	○	
社会学C	講義	1	後	2	○	
環境行動学と情報リテラシー	講義	1	前	2	○	
平和論	講義	1	後	2	○	
私たちの暮らしと政治・行政・地方自治	講義	1	後	2	○	
国際政治	講義	1	前	2	○	
シティズンシップ入門	講義	1		2	○	2025年度 非開講
キー・コンピテンシー	講義	1		2	○	2025年度 非開講

一般教養科目 文化と人間性の探求

(抽選対象科目)

授業科目 (副題)	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
人類学	講義	1	前	2	○	前期2クラス開講
日本語コミュニケーション	講義	1	後	2	○	
囲碁に学ぶ	講義	1	後	2	○	日本棋院との連携講義
東ヨーロッパの文化と歴史	講義	1	後	2	○	
欧州史の中の北欧史	講義	1	後	2	○	
文化に見る歴史	講義	1	後	2	○	
アメリカ史入門	講義	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
都市と地域構造の地理学	講義	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
音楽と文化	講義	1	前	2	○	
自分とみんなで考える哲学	講義	1	前	2	○	
心理学概論	講義	1	後	2	○	
心理学入門	講義	1	後	2	○	
現代教育の諸相	講義	1	後	2	○	
次世代育成と地域の課題	講義	1	後	2	○	
デジタル時代の人文学	講義	1	後	2	○	
宗教学入門	講義	1	前	2	○	
日本の宗教の歴史と文化	講義	1	後	2	○	

一般教養科目 人間と自然

(抽選対象科目)

授業科目 (副題)	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
科学史	講義	1	後	2	○	
都市と自然	講義	1	前	2	○	
リハビリテーション概論	講義	1	後	2	○	

一般教養科目 自然と数理の探求

(抽選対象科目)

授業科目 (副題)	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
宇宙のなりたち	講義	1	後	2	○	
植物とバイオテクノロジー	講義	1	前	2	○	
エネルギーのサイエンス	講義	1	後	2	○	
バイオサイエンス入門	講義	1	後	2	○	
情報と数理の世界	講義	1	後	2	○	
地球史入門	講義	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
地域生態学	講義	1	後	2	○	

授業科目		授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
A	IS: Community	演習	1	前後	1	○	区分Aの科目は各学期の〔前半〕〔後半〕で、それぞれ全8回で完結します。
	IS: Social Justice	演習	1		1	○	
	IS: Life & Work	演習	1		1	○	
	IS: Health & Well-being	演習	1		1	○	
	IS: The Arts	演習	1		1	○	
B	AE: Make a Difference in Your Community	演習	1	前後	2	○	
	AE: Interact Internationally	演習	1		2	○	
	AE: Improve Life Skills	演習	1		2	○	
	AE: Raise Health/Environmental Awareness	演習	1		2	○	
	AE: Produce a Movie	演習	1		2	○	
C	CS: Presentation	演習	1	前後	2	○	英語力調査 (TOEIC L&R IP) の結果に基づき熟度別クラス編成を行います。
	CS: Grammar and Usage	演習	1		2	○	
	CS: TOEIC Preparation	演習	1		2	○	
	CS: Writing	演習	1		2	○	
D	EM: World News	演習	1	前後	2	○	
	EM: Popular Culture	演習	1		2	○	
	EM: Reading for Inspiration	演習	1		2	○	
	EM: Online Articles and Videos	演習	1		2	○	

《英語プログラム内容紹介》

◆ **区分A: Issues in Society (Lectures & Discussion)**◆ **区分B: Action in English**

ネイティブ教員が担当し、授業はすべて英語で行われます。概ねTOEIC 500点以上の学生を想定した授業を行います。

スコアは目安として提示しているものであり、英語力調査 (TOEIC IP) のスコアが500点未満だと受講できないということではありません。興味、学ぶ意欲のある学生は、ぜひチャレンジしてください。

◆ **区分C: Core Skills in English**

CS: Grammar and UsageとCS: TOEIC PreparationはTOEIC IPのスコアを基にした習熟度別クラス編成となります。CS: PresentationとCS: Writingはネイティブ教員が担当します。

◆ **区分D: English through Media**

科目 (クラス) によってTOEIC推奨スコアが提示される場合がありますので、科目選択の参考にしてください。

* <英語力調査 (TOEIC L&R IPテスト) について>

本学では、学生の英語コミュニケーション能力を測るため、全学部1年生を対象とした「英語力調査 (TOEIC L&R IPテスト)」を4月当初に実施しています。テスト結果は、1年次における教養英語科目 (区分 C) のクラス編成に使用します。

TOEIC (Test of English for International Communication) は、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。英語力を客観的に証明する指標として進学や就職など様々な場面で活用されています。本学で実施しているTOEIC IPテストとは、TOEICと同様の試験内容のテストを本学主催で行うものです。

語学科目 その他の言語

授業科目	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
ドイツ語初級1	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
ドイツ語初級2	演習	1	後	2	○	
フランス語初級1	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
フランス語初級2	演習	1	後	2	○	
中国語初級1	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
中国語初級2	演習	1	後	2	○	
韓国語初級1	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
韓国語初級2	演習	1	後	2	○	
スペイン語初級1	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
スペイン語初級2	演習	1	後	2	○	
日本手話初級1	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
日本手話初級2	演習	1	後	2	○	
ポルトガル語入門	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
ロシア語入門	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
イタリア語入門	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
アラビア語入門	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講

健康・スポーツ科目

授業科目	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
*健康・スポーツ科学	講義	1	前	2	●	

(2) 集中講義開講予定

科 目	担当教員	開講予定期間
次世代エネルギーワークショップ	鵜飼 宏成	7、8月
ソーシャル・デザイン実践編	稲葉 久之	8月
起業家になる	鵜飼 宏成	12月～2月

- ・担当教員の都合等により、開講期間が変更されることがあります。
- ・学外実習は、諸事情により非開講となる場合があります。これらの場合は学務情報システムでお知らせします。
- ・受講希望者多数の場合は、各期1科目の登録に調整する場合があります。

履修登録の方法・時期等については、5月下旬～6月上旬に学務情報システムでお知らせします。

6 教養教育科目における修得必要単位数及び進級要件

2025 年度入学生にかかる教養教育の最低修得必要単位数は以下のとおりです。

データサイエンス学部

ア 修得必要単位数

区 分		科目区分ごとの最低修得必要単位数及び必修科目		
共通科目	一般教養科目	大学特色科目		英語 6 単位、健康・スポーツ科目 2 単位以外に 16 単位 (b 参照)
		現代社会の諸相		
		文化と人間性の探求		
		人間と自然		
		自然と数理の探求		
	語学科目	英語	6 単位 (a 参照)	
		その他の言語 (c 参照)		
健康・スポーツ科目	2 単位	健康・スポーツ科学 (2)		
合 計		24 単位		

※必修科目については各科目区分に科目名 (単位数) を記載しています。

- 外部機関が実施する検定試験 (実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL) の獲得点数に基づいて、英語科目の単位として最大 4 単位まで認定を受けることができます。詳細は p. 16 を確認してください。
- 英語以外の語学科目 (その他言語) についても、積極的に履修することが望ましい。
- それぞれの母語を履修して「その他の言語」の卒業必要単位とすることはできません。
- 単位互換事業により他大学において修得した単位は、教授会の議を経て 2 単位まで修得科目の内容に応じて一般教養科目に算入することができます。

イ 4 年次への進級要件

3 年次終了時において、次の表に示す単位を修得していなければ、4 年次に進級することができません。

区分	最低必要修得単位数
教養教育科目	表アに掲載している必要単位数のうち 20 単位

※英語と健康・スポーツ科目の必要単位は 3 年次終了時までには修得することが望ましい。

※これは教養教育における進級要件です。

専門教育にも同様に進級要件が設けられており、進級に際しては両方の要件を満たさなければなりません。専門教育における要件についてはデータサイエンス学部「専門教育履修要項」を参照してください。